

## 北方対策本部 令和4年度 予算のポイント

令和4年度予算額 **17億1百万円**

令和3年度予算額 16億98百万円

(対前年度比 3百万円増、100.2%)

## 重点課題

- ① 若者によるこれからの時代に適した啓発手法の開発及び展開
- ② 元島民の高齢化への対応
- ③ デジタルを活用した啓発の積極的展開

## 主な事業

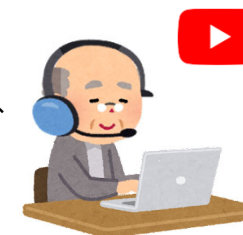
## ● 北方領土啓発次世代ラボ（19百万円）＜新規＞

➢ 若者による次世代に向けた啓発手法の開発。いくつかの具体的事業(動画コンテスト、元島民の声伝承者育成事業など)を実施するとともに、今後のアイデアを蓄積。



## ● デジタルの活用による情報発信の整備・拡充（52百万円）＜新規＞

➢ ①元島民等の「語り部」による講話のオンラインによる本格的展開と拡大、②新たなYouTubeチャンネルの立上げ、③SNSにおけるイメージキャラクターによる効果的発信。



## ● 北方領土関連資料の調査、収集・整備、活用（39百万円）

➢ 後世に残すべき貴重な資料の散逸を防止。過去2か年の調査・収集の結果をもとに、HP上で「バーチャル資料館」を開設。

## ● 北方四島交流等事業新型コロナウイルス感染症対策費（44百万円）

➢ 四島交流等事業を安全かつ安定的に継続実施するため、感染予防用品の調達、参加者のPCR検査の徹底等。

